

演習01 解答例: 課題 (仮説) の整理, 分析/検証ポイントの検討

解答例 (あくまで一例)

| お題 | | A 企業情報・ヒアリングから見てきた課題の整理 | B 優先度 (現時点仮説) | C 分析/検証ポイント |
|------|------------|---|------------------|---|
| 収益改善 | コスト減に向けた課題 | <ul style="list-style-type: none"> 生産コスト) "2か月前内示"と、実際の需要量の乖離が大きい <ul style="list-style-type: none"> 内示情報はあくまで予定であり、直前で変更になる可能性が高いため | 高 | <ul style="list-style-type: none"> どのような条件下において、特に内示との差異が発生しているか? (特定顧客、特定商品、特定時期...etc) 見込みを誤ることの現状ロス・損失はどの程度か? |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 配送コスト) 契約したトラックが計画通りに活用できていない <ul style="list-style-type: none"> 2か月前内示をもとに契約するが当月発注量がブレるため 非定期便は割高、また荷組を考えることに手一杯で追加手配の手間がかからないように多めに契約しているため | 高 | <ul style="list-style-type: none"> 月当り、どれほどの台数に無駄が発生しているか? 月当り、どれほどの非定期便を手配してしまっているのか? 見込みを誤ることの現状ロス・損失はどの程度か? |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 配送コスト) 空いているトラックに横持(自社工場から自社倉庫へ移送)させているが、事前計画との乖離が大きい <ul style="list-style-type: none"> 横持輸送に占めるコストは全体の3割とのことだが、発生理由は不明 | 高 | <ul style="list-style-type: none"> 横持移送を計画的に実施できないのはなぜか? 仮に契約台数を減らし、1台あたり便数余剰を抑止できた場合に、横持移送をどう対処する必要があるか? |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 配送コスト) 担当者が毎日手作業で、荷積計画立案に追われている <ul style="list-style-type: none"> 機械的/システムの荷積計画を作成する仕組みが無いため | 中 | <ul style="list-style-type: none"> 与えられた情報のどの項目を参照し、どのような前提条件のもとで荷積計画を立てているか? |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 生産コスト) 生産見直しに伴うコストが高んでいる <ul style="list-style-type: none"> 2か月前内示をもとに生産計画・実行するが当月発注量がブレるため | 中 | <ul style="list-style-type: none"> 製造計画の変更はどの程度発生しているか? どのような条件下において、計画変更が発生しているか? 急な生産計画変更による現状ロス・損失はどの程度か? |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 在庫コスト) 部品、仕掛品等の滞留在庫が発生し保管が必要 <ul style="list-style-type: none"> 2か月前内示をもとに生産計画・実行するが当月発注量がブレるため | 中 | <ul style="list-style-type: none"> 滞留在庫はどの程度発生しているか? どのような条件下において、滞留在庫が発生しているか? |
| | 売上増に向けた課題 | <ul style="list-style-type: none"> 主要取引先1社に依存している <ul style="list-style-type: none"> 理由は不明 | 低 | <ul style="list-style-type: none"> 今後どのようにして新規取引先を開拓していくべきか? |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 閑散期は土日休み、繁忙期も日曜休みと、稼働率向上の余地がある <ul style="list-style-type: none"> 現状2直としている理由は確認できず | 低 | <ul style="list-style-type: none"> 繁忙期・閑散期の売上・利益の差はどの程度か? シーズンをずらした取引先を開拓できないか? |
| | その他の課題 | <ul style="list-style-type: none"> 付加価値の高い製品の製造や、優位性のある加工技術を有していない <ul style="list-style-type: none"> 主要取引先の指示に従い、部品の仕入、加工・組立を行うのみのため | 低 | <ul style="list-style-type: none"> 今後どのようにして技術開発していくべきか? 現状の強みを横展開できないか? |

演習01 解説: 優先度判断の根拠

| 解説 (あくまで一例) | | | 優先度判断の根拠 (一例) | |
|-------------|-------------------------|------------|----------------|---|
| お題 | | | 優先度 (現時点仮説) | |
| 収益改善 | A 企業情報・ヒアリングから見てきた課題の整理 | コスト減に向けた課題 | 高 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 純粋に需要量の乖離をなくすことができれば、配送業務において無用なコスト（定期契約台数の余り/高単価な非定期便の手配）を低減できるため |
| | | | 高 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月の定期契約台数の減少が、固定費削減に直結する可能性があるため ・ 定期契約台数と、非定期便の手配状況のバランスで、損益分岐点などを識別できる可能性があるため |
| | | | 高 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 配送手配担当者の知見による所が大きい、空いているトラックを有効活用することができれば、定期便契約の削減や、非定期便依頼を削減できる可能性があるため |
| | | | 中 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 現状のヒアリング内容のみでは、詳細要件を確認できない可能性があるため（受領データを見て判断する） |
| | | | 中 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 過去の計画変更前後のデータが記録されていないとこのことで、詳細な分析に至れない可能性が高いため（受領データを見て判断する） |
| | | | 中 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 正確な在庫データを提供できない状況とこのことで、詳細な分析に至れない可能性が高いため |
| | 売上増に向けた課題 | | 低 | <ul style="list-style-type: none"> ・ すぐに解決できないため、および関連する詳細情報はヒアリングできていないため |
| | | | 低 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 同上 |
| | その他の課題 | | 低 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 同上 |
| | | | | |